



東和町森林組合

**Yuuosuke Sato
須藤 裕丞さん(27)**
東和町・米川 10区

地域に合うのは、地域産木材

実家で山を所有しており、祖父が手入れをしていました。自然の中で育ってきたので、自然に適応する仕事に就きたいと思いました。

木材センターは市内に2ヵ所、東和と津山にあります。東和町森林組合が運営する東和木材センターには、市内のほか、氣仙沼市や岩手県一関市から木材が集められます。

市内産木材を使うということは、木育ったのとほぼ同じ環境で使うということ。温度や湿度、気候になじむので持ちこなす。家を建てるときは市内産木材をお勧めします。

誰もが、家を建てるときは少しでも安くしたいと思いますが、全体に古めの木材の価格は2割程度。キッチンやお風呂だけではなく、家全体の材質にも気を配ってはどうでしょうか。

競売

伐採された木の多くは、木片に集められ、入札で販売されます。

森林の仕事

森林には、地球温暖化の主な原因である二酸化炭素の吸収や、災害防止、自然環境の保全などさまざまな機能があります。

森林の機能は、「植える→育てる→収穫する」というサイクルがきちんと循環するこどで十分に発揮され、そのサイクルは林業の扱い手によって支えられています。

伐倒、製材、加工など各分野の扱い手たちに、本市の林業について話を聞きました。



製材

ニーズに合った製品を作りたい

津山は林業が盛んで、地域の基幹産業でした。製材業は地域に密着した大事。なくてはならない大切なものなので、企業を継ぎました。

市内産木材は耐久性に優れ、真っすぐ成長しているので扱いやすい良材です。製品を作ります。先人たちが、丁寧に手の入を入れてきたおかげですね。

当社では、家1棟の材料をまとめて供給したいと思っています。また、市場から需要のある乾燥材の生産も拡大し、さまざまな木製品に対応した製品を作りたいと考えています。

皆さんにより多くの木材を使ってもらえるよう、良い材質のものを、より安く提供し、地産地消につながればいいなと思います。



**Syousuke Inomata
伊庭 伸哉さん(48)**
津山町・元町第一

代表

佐藤

社長

Hiroyasu Sato

代表取締役

社長

良材から美しい製品が生まれる

津山木工芸品事業協同組合は、間伐材の有効活用のため1982年に設立されました。

当組合の木工品は矢羽根模が特徴。市内産杉材にこだわり、器や家具、玩具などさまざまな製品を作っています。市内産木材は、年輪幅が均等な感覚で育っているので木目がきれい。矢羽根模にしたときに美しく仕上ります。今こうして良材を使えるのは、生産者の皆さんが間伐などの手入れをきちんとしてきたおかげです。

木工芸品の良さは傷が付いていても直せること。木永く使ってもらえるとうれしいですね。

特注品の注文も受けますが、手作りのため生産数に限りがあります。今後、生産数を伸ばせるよう購入を育て、技術を磨き、市内産木材の活用に協力してきたいです。

丸太をいろいろな形状・寸法の丸太や角材に加工することを担っています。



**Kichiaki Sasaki
理事長 佐々木 喜市さん(64)**
津山町・横山 1区

加工

職人の技により、家具や木工品に姿を変える木材。姿を変えることで、さまざまに用途に生きかかれます。

木材を使ってほしい

自然が好きだったので、山で働きたいと思いました。

主な仕事は間伐です。間伐は木材に対するために必要なこと。一般に木材は、真っすぐで、年輪幅の均一なものが良材です。加工しやすく、見た目もきれいでからで、やりがいがあります。市内の木材は成長が良く、木材が多いです。市内産木材の良さを知っていただき、たくさん使ってほしいですね。

次世代に美しい森を

登山をしていて、山に興味を持ったので、山で働きたいと思いました。

主な仕事は間伐です。密集していた木を伐採するとき、木々の間から光が差し、明るい森になります。間伐した森林はとてもきれいです。やりがいがあります。山は私たちの暮らしに欠かせないものなので、きちんと整備して、次世代に美しい森を残したいです。

資源を残す活用

体を動かす仕事をしたいと思っていたので、この仕事を選びました。

主に、山を維持管理するための道路整備や丸太の運搬をしています。木を伐採したときに発生する枝、葉はごみになります。葉は糞便の原料にでき、やや多いですね。山は私たちの暮らしに欠かせないものなので、きちんと整備して、次世代に美しい森を残したいですね。

間伐

人工林では、1~2年で3千本の苗木が植えられます。森林を育てるためには、木の成長に合わせて適度に伐採しなければなりません。それを間伐といいます。

森林を育てるためには、木の成長に合わせて適度に伐採しなければなりません。それを間伐といいます。